

DUNLOP MOTORSPORT RACE REPORT

ALL JAPAN KARTING CHAMPIONSHIP 2013 SERIES KF1 CLASS

全日本カート選手権 KF1クラス 第7戦／第8戦

2013年9月7～8日／愛知県・美浜サーキット／くもり時々雨(ウェット→ドライ)

刻々と変わる路面状態でも高性能を発揮！ 福住が2連勝でチャンピオン争いに名乗りを上げる！

最終戦前の重要な大会は、くもり空と小雨が交互にサーキットを訪れる難しいレースコンディションに。午前に行われた第7戦の決勝で、4名のダンロップ・ユウザーたちは福住仁嶺、朝日ターボ、宮澤一輝が1～3番グリッドを占め、予選ヒートでブレーキにトラブルがあった山本龍司は12番グリッドに着けた。

しっとり濡れた路面で全車がスリックタイヤを装着してレースが始まると、宮澤一輝が1周目にトップを奪う。だが、宮澤はサイドボックスの固定が緩み無念の戦線離脱。代わって先頭に立った福住は、大きなリードを保ったまま25周を走り切り優勝を飾った。その後方では、山本が快調なペースで順位を上げて4位でフィニッシュ。レース序盤に苦しんだ朝日は5位となった。

午後に行なわれた第8戦の決勝は、ドライコンディションでの戦いだ。2戦連続ポールポジションの福住は、序盤の混戦の中で5番手へ後退。すると朝日が11周目にトップに立つ。ここに猛追の福住が追い付き、終盤戦は朝日と福住の優勝争いとなった。両者が5度に渡って順位を入れ替える熱戦は、福住の2連勝で決着した。最終ラップに後続とのバトルに巻き込まれた朝日は、不運なスピンを喫して8位でフィニッシュ。

宮澤と山本はエンジントラブルでリタイアに終わった。

シリーズランキングは朝日が2番手をキープし、自身3勝目を挙げた福住は3番手に浮上。ふたたびはチャンピオンの座を懸けて最終戦に臨む。



DUNLOP MOTORSPORT RACE REPORT

ALL JAPAN KARTING CHAMPIONSHIP 2013 SERIES KF1 CLASS

全日本カート選手権 KF1クラス 第7戦/第8戦

2013年9月7～8日 / 愛知県・美浜サーキット / くもり時々雨(ウェット→ドライ)



住友ゴム工業株式会社
ダンロップ モータースポーツ部 開発担当

藤田 将之

路面がたびたび乾いたり濡れたりする、本当に難しいレースでした。大会前の天気予報で天候が不順になりそうだと分かったので、温まりのいいタイヤを投入して、他社に劣らないレースをすることができました。ダンロップとしては5連勝することができて満足しています。最終戦が行なわれる鈴鹿は、去年の大会でやや温まりの悪さに苦労したので、ピークグリップを落とさずその面を改善したタイヤを用意して臨みたいと思います。



6 朝日ターボ Turbo ASAHI

第7戦は序盤から満足するペースで走れず、まったく歯が立ちませんでした。自分の技量不足です。第8戦は、結果はともかく前回までの大会と同様にトップレベルで戦うことができました。気持ちを切り替えて最終戦に臨みたいと思います。

タイムトライアル 9番手
第7戦 予選2番手
第7戦 決勝5位
第8戦 予選2番手
第8戦 決勝8位



22 宮澤 一輝 Kazuki MIYAZAWA

濡れた路面でも良好なグリップを得られていたので、いい手応えがあったのですが、残念な結果になりました。これもレースですから仕方ないですね。この次のレースはしっかりと最後まで走りたいです。

タイムトライアル 7番手
第7戦 予選3番手
第7戦 決勝リタイア
第8戦 予選6番手
第8戦 決勝リタイア



23 福住 仁嶺 Nirei FUKUZUMI

第7戦では決勝の途中で雨が止んで、乾いていく路面をどこまで攻めているかの判断が難しかった。第8戦も難しいレースでしたが、展開に恵まれたと思います。ダンロップがいいタイヤを作ってくれたおかげで勝つことができました。

タイムトライアル 5番手
第7戦 予選1番手
第7戦 決勝1位
第8戦 予選1番手
第8戦 決勝1位



29 山本 龍二 Ryuji YAMAMOTO

今回のタイヤは、路面が濡れて温まりにくい状況でもスタート直後から素晴らしい性能を発揮して、レース終盤までその性能を保ってくれました。僕自身も第7戦を自己最上位タイの順位でフィニッシュできて、いいところを見せられたと思います。

タイムトライアル 10番手
第7戦 予選12番手
第7戦 決勝4位
第8戦 予選4番手
第8戦 決勝リタイア

